

この数日間の経験が、兵学者松陰の成長をもたらせたようである。角島に渡って、早速次のような主旨の海防論をしたためている。

角島は[※]賊衝^{ぞくしゅう}の地なり。周廻二里半、本山百戸、尾山五十戸に足らず。而して[※]其の地懸絶、陸路接せず、若し風波に逢ふ時は[※]應接便を失ふ。然れば預め^{あゆみ}に[※]嚴備なくんばあるべからず。唯だ其の肥中に面する部は、尾山の浦・田ブテの濱二處に砲を安んじて可なり。

外海に面する部は、軽便の砲十門^{ぼく}許りを備へ、臨機の守禦を為すべくし、兵士五六名を[※]戍し、[※]民丁をして銃砲に熟せしめば可ならん。

『廻浦紀略』

(嘉永二年七月十三日)」

〔註〕

- ・賊衝の地（海外の賊にとっての要衝の地）
- ・其の地懸絶（その地は本土から隔たっている）
- ・應援便（島と本土を行き来する船便）
- ・嚴備（嚴重な備え）
- ・戍し（駐留させ）
- ・民丁（民間の若者）

私たち松陰研修塾の一行は、さらに、松陰が視察した豊北町内のゆかりの地や名所、旧跡を訪ねた。

○恩徳寺の結びイブキ

肥中から附野に向かう道は、肥中の北岸の恩徳寺付近から北に向かう道となる。恩徳寺には国指定の天然記念物である「恩徳寺の結びイブキ」がある。



恩徳寺の結びのイブキ



恩徳寺

○肥中港

大内時代は、肥中街道（山口〜肥中）の終点で朝鮮貿易が行われ、大内文化の経済的基盤を支えた。奥まった入り江で水深もあることから、海外貿易港としての条件を備えていたものと推察される。

藩政時代は御番所や遠見番所がおかれていた。



肥中港



番所跡

○村田家屋敷跡（村田家顕彰之碑）

NHK大河ドラマ「花燃ゆ」放映を機に平成二十六年四月に村田家顕彰会が設立され、松陰の母滝子と伯父竹院和尚の実家である村田家屋敷跡とその周辺を公園として整備し、安倍晋三内閣総理大臣の揮毫による顕彰碑が建立された。



安倍総理大臣書による顕彰碑



村田家屋敷跡の石垣